

## アピール

# 非暴力による平和をめざす地球市民として、 共にプーチン大統領のウクライナ侵略に抗議し、 武力攻撃の即時停止・撤兵と問題の平和的な解決を強く求めましょう

2022.3.5 9条地球憲章の会  
代表 堀尾輝久 事務局長 目良誠二郎

非暴力による真の平和をめざす私たち「9条地球憲章の会」は、今回のプーチン大統領による許しがたいウクライナ侵略と、核攻撃の脅迫、さらにザポリージャ原発への攻撃に抗議し、ロシア軍の武力攻撃の即時停止・撤兵と、問題の平和的な解決へ向かうよう、地球市民として共に強く求めることを広く内外に呼びかけます。

私たちは、地球上の現存世代も将来世代も含めたすべての人々が、地球市民として「持続可能な地球環境の下で、尊厳をもって平和に生きる権利」を生まれながらに持っていると考えます。そして、それを徹底した非暴力で実現することこそが、21世紀における人類史的な課題であり、日本国憲法の前文と9条の平和主義は、その点からもまさに今こそ尊重され、活かされなければならないと確信し、本会を5年前に結成して活動してきました。

今回のウクライナ侵略は、その私たちの会の理念と目的をあらゆる面で踏みにじり、国連憲章を始めとする国際法をも乱暴に侵害するものです。そして、もしこの戦争が核戦争への最悪の展開になってしまえば、全世界の人々の「平和に生きる権利」を奪い、脅かしかねない、まさに人類史的な暴挙となると言わざるをえません。

プーチン大統領は、冷戦終結後、米欧諸国がソ連とワルシャワ条約機構が解体された後もNATOを温存し、さらに旧ソ連の支配下にあった東欧諸国へNATOを次々に拡大し、ついにロシアと国境を接するウクライナにまで拡大しようとしたことを、ロシアに対する死活的な脅威だとしてウクライナ侵略を正当化しています。

したがって、そうした正当化をいっさい許さないためにも、米欧諸国はウクライナへのNATO拡大をきっぱりと撤回し、さらに自らもNATOの解体に向かうべきです。NATOを温存したまま、ウクライナに軍事援助を強化し続ければ、かえって戦争を長引かせ、犠牲者を増やしかねません。私たちの会は、世界中のすべての軍事同盟は破棄され、国と国の対立は、政府間のあくまで非暴力の平和的な外交と市民同士の交流と対話によって解決すべきだと考えます。

また、ロシアに対する米欧諸国と日本などによる長期にわたる強力な経済制裁は、プーチン政権に大きな打撃を与えるだけでなく、ロシアとさらには欧米、日本を含む世界中の市民、特に弱者の生活と生存を脅かしかねません。

犠牲の大きい「目には目を」の軍事制裁や苛酷な経済制裁ではなく、あくまで世界中の平和を愛する市民による非暴力のグローバルな抗議行動で、プーチン大統領のウクライナ侵略をやめさせましょう。すでに多くのロシアの市民が、侵略に苦しむウクライナの市民と連帯し、プーチン政権の弾圧に抗して勇敢に立ち上がっています。日本でも全世界でもそれに続きましょう。国連にも各国政府にも、平和的解決への努力を強く求めましょう

反対に、このプーチン大統領の暴挙に便乗した、各国のいっそうの軍拡や、安倍元首相などによる非核三原則を真っ向から否定するような米国との「核共有」策の提唱など、日本や欧米諸国、さらに中国や北朝鮮などの権威主義国家による「核」依存体制の維持・強化の動きにも強く警戒し、抗議してやめさせなければなりません。

今こそ平和を愛する地球市民として連帯しましょう！

非暴力で「核も戦争もない」世界の実現をめざしましょう！

共に知恵と力を地球規模で尽くしましょう！

URL (<https://www.9peacecharter.org>)

Mail ([9.globalpeace@gmail.com](mailto:9.globalpeace@gmail.com))

